

カノコユリ保護大作戦

7月18日(木)、甑島の鹿島地区で、甑島ツーリズム推進協議会が外来種である「シンテッポウユリ」の駆除作業を行いました。

これは、市花である「カノコユリ」との交雑を防ぐために毎年行っているもので、地域の環境保全と観光資源の確保に努めています。



シンテッポウユリ

提供:鹿児島県

親子ですてきな作品を作りました

7月20日(土)・21日(日)、少年自然の家で、夏休み親子工作教室を開催しました。

17組48人の親子が触れ合いながら、本棚やおもちゃ、貯金箱など木工作品を制作しました。参加した子どもは、「初めて釘を打ちました」と笑顔で教えてくださいました。



車いすバスケットボールで大熱戦

7月21日(日)、サン・アビリティーズ川内で、第13回桜島杯車いすバスケットボール大会が開催されました。

この大会には、本市で練習し、障害者と健常者の混合チームである鹿児島車いすスポーツクラブを含む県内3チームと宮崎県の1チームが参加しました。熱戦を繰り広げ、県内のチームが優勝しました。



【情報提供:鹿児島車いすスポーツクラブ】

昆虫大好きっ子、集まれ

7月26日(金)、隈之城保育園で、カブトムシやクワガタムシの観賞会を開催しました。

これらは、園児の保護者が自宅で飼育し、繁殖させたものです。ヘラクレスオオカブトなど6種類の昆虫たちに子どもたちは大喜びで、目を輝かせながら、親子で触れ合いを楽しみました。



【情報提供:隈之城保育園】

道路ボランティア作業

8月2日(金)、市道宮入来線で、入来建友会(入来町内建設業者12社)による、道路脇の除草や伐採作業などのボランティア活動が行われました。

猛暑の中、約1キロメートルの沿道作業で、道路などの見通しを良くしていただきました。



「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供いただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。

県・市の若手職員の合同研修

8月3日(土)、隈之城地区コミュニティ協議会主催の夏祭りに、県と本市の若手職員が合同で研修を行い、運営に参加しました。

参加した職員からは、「地元の皆さんのねぎらいの言葉に心温まった」、「祭りを楽しんでもらうための運営側の団結力を体感した」などの声が聞かれました。

合同研修は、来年2月まで市内17地区コミュニティ協議会で順次実施する予定です。



▲永田代表取締役(右から2番目)
久保常務取締役(右から6番目)と社員の皆さん

地域とのつながりを大切に
当社は、風力発電所を見渡せる風車公園や、柳山ウインドファームへ続く周辺道路の草刈りを行っています。また、



▲風力発電所

しました。高江町の柳山周辺に柳山ウインドファーム(全12基の風力発電所)事業を立ち上げ、平成26年から稼働しています。風力発電は、発電時に二酸化炭素が発生しないことが特徴です。
さらに、令和4年に小売電気事業へ参画し、若松町に地域密着型の新電力「W電力」を立ち上げました。これにより、柳山ウインドファームで発電した電気を、当社から直接、消費者へ供給することができるようになりました。これまでに、県内の公立高等学校や九州内の公共施設などに電気を供給しています。当社の電気は発電時の二酸化炭素排出がゼロであるため、消費者はSDGsに寄与することができます。

今後の抱負
自然エネルギーによる発電は、発電量が天候に左右されます。そのため、当社では電気自動車や蓄電池を活用して、電気を地元の農業、漁業、林業、教育に還元する取り組みに挑戦する予定です。
これからも本市で生まれた再生可能な自然エネルギーの地産地消を通じて、まちづくりや地域活性化に貢献していきます。



▲芋掘りへの参加の様子

地域が主催する、ウォーキング大会や芋掘りなどのイベントへの参加や協賛を通して地域とのつながりを大切にしていきます。
さらに、市内外の学校から社会科見学や環境学習を受け入れ、環境問題などの啓発活動にも取り組んでいます。

株式会社ワット - Information -

代表者: 代表取締役 永田善三

所在地: 高江町 2918 番地 1

従業員数: 11 人

連絡先: ☎(20) 3832

ホームページ▶



電気業界は未経験の分野でしたが、電気の地産地消に興味を持ち、入社しました。専門用語も多く難しいこともありますが、上司や同僚のサポートを受けながら、お客さま対応や事務全般を担当しています。何事にもチャレンジ精神を持ち、「どうせやるなら楽しく」という当社のモットーを胸に、自然エネルギーによる発電の魅力が多くの方に伝わるように仕事に取り組んでいます。



入社2年目
まつもとしょうこ
松本昌子さん

社員からのメッセージ